

**平成20年度当初予算 重点的な取組別概要**  
**<みえの舞台づくりプログラム>**

元気3：食に学び、食を育む環境づくりプログラム（主担当部：農水商工部）

<プログラムの目標>

県民の皆さんが、三重県の食の魅力や価値を理解し、食に関する正しい知識を学ぶことにより、豊かで健全な食生活が広がるなかで、県民ニーズに応えた安全・安心で魅力ある県産食材の提供に向けた生産者などの取組が進められています。

<構成事業（担当部）>

- （1）地産地消情報発信事業（農水商工部）
- （2）健康食育推進事業（健康福祉部）
- （3）学校食育推進事業（教育委員会）
- （4）地域連携創造支援事業（農水商工部）
- （5）みえの食・安心安全確立推進事業（農水商工部）
- （6）食の安全・安心地域力向上事業（農水商工部）
- （7）「みえの食」魅力づくり応援事業（農水商工部）
- （8）新たな「みえの食材」供給促進事業（農水商工部）
- （9）森の恵みの価値向上事業（環境森林部）

<プログラムの想定事業費>

（単位：千円）

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(140,072)	(90,000)		
137,790	126,595	88,000	88,000

H19年度は現計予算額、H20年度は当初予算要求額

H19およびH20年度の上段括弧書き、H21年度、H22年度は第二次戦略計画の記載額

<構成事業の目標>

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1)地産地消・食育情報誌の発行回数	目標値	-	4回	4回	4回	4回
	実績値	4回				
(2)セミナー・研修会への参加人数	目標値	-	2,000人	2,500人	3,000人	3,000人
	実績値	-				
(3)朝食を毎日食べる小学生の割合	目標値	-	91%	94%	97%	100%
	実績値	88%				
(4)地域における連携活動の実践数（累計）	目標値	-	5件	6件	7件	8件
	実績値	-				
(5)人と自然にやさしいみえの安心食材登録件数（累計）	目標値	-	453件	485件	517件	550件
	実績値	421件				
(6)県の「食の安全」の取組の認知度	目標値	-	45%	46%	47%	48%
	実績値	44%				

(7)「みえ地物一番の日」の協力店舗等の数	目標値	-	940 か所	985 か所	1,030 か所	1,075 か所
	実績値	895 か所				
(8)新たな「みえの食材」生産供給システムの実験件数	目標値	-	3 件	3 件	3 件	3 件
	実績値	-				
(9)品質・衛生管理マニュアルによる特用林産物生産割合	目標値	-	10%	20%	30%	35%
	実績値	6.6%				

#### < 進捗状況（現状と課題） >

- ・社会情勢や生活環境の変化の中で、県民の皆さんの食に関する正しい知識の欠如や健全な食生活の喪失などが進み、生活習慣病の増加や、朝食を完全欠食している児童生徒の存在など、さまざまな課題が顕在化しています。
- ・一方、三重県の農業・水産業の生産は継続的な減少傾向にあることから、県民の皆さんの県産食材による豊かで安全・安心な食生活や三重県の風土や歴史に培われた食文化の喪失が危惧されています。
- ・こうしたことから、県民の皆さんの心身の健康と豊かな食生活の実現に向けた「生産から消費までの望ましい食の循環」を構築するため、さまざまな主体が実践的に活動していくしくみづくりが必要になっています。
- ・これらのことをふまえ、食育や地産地消活動を幅広く地域に展開させるため、ニュースレターを3回発行し、毎月ごとに情報紙を配布するとともに、メールマガジンを21回発信するなど、さまざまな情報を県民に提供しました。
- ・また、県内各地での食育や地産地消の普及・啓発のため、食生活改善推進員等を対象に食事バランスガイドに関する研修会を15回開催するとともに、食の安全・安心交流会を7回開催しました。
- ・さらに、多様な主体が連携した地産地消や食育推進のためのモデル的な実践活動が、県内の7地域で取り組まれています。

#### < 平成20年度の取組方向 >

学校や家庭、事業所、生産現場などのさまざまな地域ステージで、食事バランスガイドの普及や子どもたちに対する望ましい食習慣の習得、安全・安心や食品表示の適正化などの食の魅力づくりや食の安全・安心県民運動などに取り組む多様な主体の活動を促進します。

学校と地域、事業者とNPOなど、主体間や関係者間の連携を深めるとともに、地域段階において分野・領域が異なる多様な主体が連携し、地産地消や食育活動を実践する場である「地域サロン」の構築をはかります。

#### < 他の主体の参画内容 >

- ・地域住民やNPOは、学校等のさまざまな主体と連携して、食育に関わる実践活動に取り組むとともに、生産者等のさまざまな主体と協働して、地産地消に関わる実践活動や食の安全・安心に関する普及啓発活動等に取り組めます。
- ・生産者、生産者団体は安全・安心な農林水産物や食品加工品の生産に取り組むとともに、食の安全・安心に係る情報発信や啓発活動に取り組めます。また、県産食材の価値向上や魅力づくりに

取り組むとともに、県民ニーズに応じた食材の生産供給の実験活動に取り組めます。

- ・食生活・栄養指導団体は講座開設や普及啓発等をとおして、県民の食生活改善指導に取り組めます。
- ・食品関連事業者は安全・安心な農林水産物や食品加工品の生産に取り組むとともに、食の安全・安心に係る情報発信や啓発活動に取り組めます。また、県産食材を用いた食品加工品の魅力づくりに取り組むとともに、「みえ地物一番の日」の取組に参加します。
- ・市町は教育や普及指導をとおして、児童生徒や地域住民に対する食育推進に取り組むとともに、地域における地産地消の実践活動や食の安全・安心の取組を推進します。

#### <主な予算要求事業>

(一部新) 地産地消・地域連携創造支援事業【20年度予算額 45,135千円】(事業(1)(4))

地産地消・食育情報の提供を行うとともに、さまざまな主体が連携して取り組む地産地消や食育の地域実践活動に対して支援します。また、地産地消の推進のための施設整備や団体が取り組む食育活動を支援するとともに、生産現場と教育現場の連携強化による食育の推進をはかります。

健康食育推進事業【20年度予算額 6,617千円】(事業(2))

広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成に向けて、食事バランスに対する理解や「食事バランスガイド」を活用した取組等をはかり、多様な主体と協働した食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進します。

学校食育推進事業【20年度予算額 6,813千円】(事業(3))

子どもたちが正しい食事のあり方を理解し、望ましい食習慣を身につけることができるよう、学校における指導体制を充実するとともに、学校、家庭、地域および関係団体の連携・協力による学校給食への地場産物の活用や食に関するさまざまな体験活動等を推進します。

(一部新) みえの食・安心安全確立推進事業【20年度予算額 28,129千円】(事業(5)の一部)

人と自然にやさしいみえの安心食材表示制度の運営、持続的農業法に基づくエコファーマーの認定、地域特産品認証食品(Eマーク食品)の認証を促進します。また、有機農業法への対応などをふまえた「人と自然にやさしい三重の農業推進方針(仮称)」を策定します。

(新) 食の信頼回復サポート事業【20年度予算額 12,650千円】(事業(5)の一部)

事業者が主体的に適正表示に取り組める環境整備が重要であることから、法令に関する理解促進、知識の付与のため、セミナーの開催、法令解説マニュアル・事例集・Q&Aの作成や、食品サポート員制度の導入、コンプライアンスに係る自主的な取組を促進するしくみの構築を行い、事業者による三重県の食に対する信頼回復をサポートします。

食の安全・安心地域力向上事業【20年度予算額 3,753千円】(事業(6))

食の安全・安心確保推進モデル地域を中心に、市町や地域の多様な主体と連携・協働しながら、食の安全・安心県民運動を推進します。

「みえの食」魅力づくり応援事業【20年度予算額 13,860千円】(事業(7))

魅力ある食材の開発や提供に取り組む意欲ある事業者を対象に、アドバイザー派遣や事業者間のマッチング支援などを行うとともに、「みえ地物一番の日」の取組を促進します。

(一部新) 新たな「みえの食材」供給促進事業【20年度予算額 6,290千円】(事業(8))

意欲ある生産者、生産者団体や事業者等と協働し、子どもや高齢者等の嗜好に合った食材や安全安心な食材を生産、供給するシステムの構築に取り組みます。また、国際的な穀物価格や原油価格の高騰による低価格要求等消費者の新たな需要に対応するとともに、同様に厳しい影響を受けている生産者の経営改善モデルとなるような生産供給システムの構築に取り組みます。

森の恵みの価値向上事業【20年度予算額 3,348千円】(事業(9))

森の恵みである県産きのこ類について、生産者団体等と協働して食の安全・安心などの付加価値を高めるための取組を、生産・流通・消費段階で促進します。